

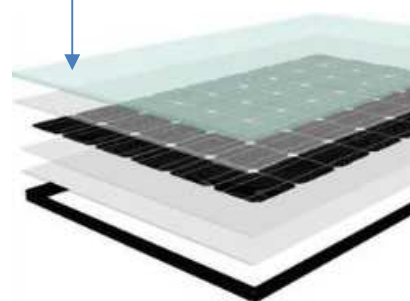
インターナショナルスクールへの超軽量太陽光発電システムの導入

プロジェクト実施者：（日本側）アジアゲートウェイ株式会社、（カンボジア側） International School of Phnom Penh

GHG排出削減プロジェクトの概要

プノンペン特別市南部のサテライトシティ「INGシティ」に位置するインターナショナルスクールの校舎屋根に200kWの超軽量太陽光発電システムを導入し、同スクールで全量自家消費するもので、系統電力量を低減してCO₂排出削減する。導入する太陽電池パネルは化学強化特殊ガラスをカバーガラスとして使用することで、大幅な軽量化（従来比50%減量）を実現した。現地の構造物は一般的に強度が低いため、超軽量を特徴とする本技術は、途上国での波及が期待される。

化学強化特殊ガラス



超軽量太陽光発電モジュール

校舎屋根に設置



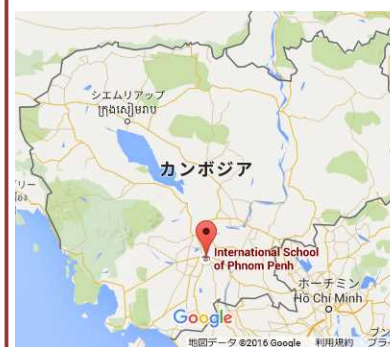
校内で自家消費

インターナショナルスクール

想定GHG排出削減量

104tCO₂/年

JCM設備補助事業実施サイト



カンボジア国プノンペン特別市